

3、藩政・幕政

三〇〔元禄七年十二月白河藩松平大和守借上金覚〕

預り申金子之事

一金百五拾兩三分ト銀三匁

内四拾五兩三分ト銀三匁

申酉戌三年分之利金年中老割五分相加金高如此

右者松平左膳殿台所為入用預り申処実也是へ去申年預り金可返済之処知行減少勝手難儀付及遲滯候依之年賦ニ相済度段及断如此候当戌暮より子之暮迄十五年賦ニ相定老ケ年ニ金拾兩銀七匁貳分宛每暮無相違返済可申候縦内外如何様之事有之候共於此金子ハ無沙汰申間舖候為後日証文仍如件

元禄七年戊十二月

河上善右衛門判

木戸 助之進

伊藤 平治

和田 文治

星野十郎右衛門

安井 伊兵衛

生田 外記

山田 十郎兵衛

山田 主水

前田川大庄屋

遠藤与次右衛門殿

三城目大庄屋兼郷士

伊藤 十五郎殿

右者松平下総守様御代御役人と相見得申候

〔大池 伊藤光之祐家文書〕

三一〔寛政五年九月高田藩領三城目組高懸戈覚金覚〕

覚

一金千貳百五拾兩

但高掛御用金被仰付候

一同千貳百五拾兩

但高割戈覚金御頼被 成候

外ニ

千三百貳拾五兩

名前御頼

此沢ヶ

貳百五拾兩

鈴木 伝左衛門

同 磯右衛門

同 忠太平

同 伝右衛門

鈴木 茂市郎

円谷 甚左衛門

遠藤 捨五郎

松浦 勇右衛門

小作田村 沢右衛門

滑津村 直 吉

金山 組下

浅川 組下

栃本 組下

釜子 組下

前田川 組下

谷田川 組下

滑津 組下

三二 〔享保九年二月白河藩大和久村夫食麦拝借連判帳〕

（表紙）

享保九年

辰春夫食麦預り連判帳 大輪久村

辰二月

預り申辰之春夫食麦貸付之寛

大輪久村

一貳朱分 久 七 卍 一壹分分

一壹分貳朱分 市左衛門 卍 一壹分分

一壹分分 八之丞 卍 一貳朱分

一壹分分 惣右衛門 卍 一壹分分

一貳朱分 六左衛門 卍 一壹分分

一壹分分 伊右衛門 卍 一壹分分

一壹分分 角右衛門 卍 一壹分分

一壹分分 六右衛門 卍 一壹分分

一貳朱分 清左衛門 卍 一貳朱分

一貳朱分 清太郎 卍 一貳朱分

一壹分分 喜兵衛 卍 一貳朱分

伝之丞 卍

与次兵衛 卍

彦三郎 卍

喜右衛門 卍

喜右衛門 卍

武次右衛門 卍

久次郎 卍

又右衛門 卍

平 助 卍

太郎兵衛 卍

加左衛門 卍

〔中野目 円谷善人家文書「御用書留帳」より抜出〕

貸付
申候為後日村中判形相渡置申候仍如件

享保九年

辰二月 大輪久村組頭

太左衛門 印

同 武左衛門 印

庄屋

芳賀兵右衛門 印

三城目村

伊藤 喜惣次殿

(名前は上段より下段につづく)

(大池 伊藤光之祐家文書)

一沓分分	与平次 印	一式朱分	伝十郎 印
一沓分式朱分	善右衛門 印	一沓分分	仁右衛門 印
一沓分分	三四郎 印	一沓分分	庄右衛門 印
一沓分式朱分	茂右衛門 印	一沓分式朱分	弥三郎 印
一沓分分	加平次 印	一式朱分	次左衛門 印
一式朱分	弥平次 印	一式朱分	七郎兵衛 印
一式朱分	徳右衛門 印	一式朱分	伊左衛門 印
一沓分式朱分	作之丞 印	一沓分分	勘兵衛 印
一沓分式朱分	与左衛門 印	一沓分分	孫兵衛 印
一沓分分	与五左衛門 印	一式朱分	七三郎 印
一沓分式朱分	七之丞 印	一式朱分	九十郎 印
一沓分式朱分	仁兵衛 印	一沓分分	吉右衛門 印
一沓分分	平右衛門 印	一式分分	介右衛門 印

金拾沓兩沓分分

内五兩式分式朱辰ノ暮濟口

五兩式分式朱巳ノ暮濟口

右者当春村中夫食麦拾沓兩沓分分利なし式年賦ニ預り申処
相違無御座候右之内五兩式分式朱当秋九十月中急度相濟可

解説 三城目村から大輪久村(大和久村)へ夫食麦拾沓兩沓分分を借入した際の連判帳で三城目村と大和久村の交渉がうかがえる。農民救済の方法として備荒貯穀と救恤があるが、前者は凶作などに備えるためで後者は凶災の都度行う救済行為である。救恤はたいいていの場合利息をつけ、とつさの場合助けになるとはいえ結局農民には負担を増すことになる。これも適用の範囲と量には限度があり凶作などの例外に限られた。普通は相互扶助にまかされ、親戚・組・村が責任を持つことになっている。「大和久村夫食麦拝借」の場合は、個人の責任で連判して村がまとめ、三城目村から借用している形をとっている。

三三 〔文政九年四月幕領浅川陣屋支配大畑村

飢夫食米拝借貸付人別控〕

(表紙)

文政九戌年 石川郡

飢夫食米拝借貸附人別書上帳

四月 大畑村

覚

石川郡大畑村

一米八斗五升貳合八勺
一米八斗五升貳合八勺
一米八斗五升貳合八勺
一米八斗五升貳合八勺
一米八斗五升貳合八勺
一米八斗五升貳合八勺
一米八斗五升貳合八勺
一米八斗五升貳合八勺
一米八斗五升貳合八勺
一米八斗五升貳合八勺
一米八斗五升貳合八勺
一米八斗五升貳合八勺

甚右衛門
留三郎
長右衛門
久右衛門
富八
千吉
金右衛門
弥七右衛門
善次郎
權右衛門

〆米八石五斗貳升八合

但當戌暮〆寅暮迄五ヶ年賦壹ヶ年米壹石七斗五合六勺

宛御返納

右者去酉年稀成凶作ニ付夫食差支拝借奉願上候ニ付再応御吟味之上御窺被成下置今般御下知相濟候ニ付小前江割合銘々難有奉請取候処相違無御座候然ル上者當戌〆寅迄五ヶ年賦ニ被仰付年々無相違御返納可仕候依之印形取揃差上申候以上

文政九戌年四月

長百姓

留三郎

組頭

嘉藏

同

市郎兵衛

庄屋

甚太郎

浅川

御役所

〔大池 青木政義家文書〕

三四 〔文政十年十月白河藩明岡村歳々囲糶扣〕

〔表紙〕

文政十年

亥年より歳々囲糶扣帳

十月

明岡村

亥年より囲糶

一糶粍石七升

此人数百七人

右致見分候処相違無之候

子四月廿二日

子年より囲糶

一糶粍石貳升

此人数百貳人

右見分候処相違無之候

丑八月

文政十歳

非常囲糶相調書上帳扣

天保七申年大凶作ニ付去酉二月囲糶村方江割符仕候

亥十一月

明岡村

覚

糶粍石七升

明岡村

此人数百七人

右者当亥年分非常囲糶前書之通取立石高書上候処相違無御

座候以上

十一月

明岡村長百姓

又兵衛

坂本勇八^印

組頭 伊左衛門

内山茂登吉

庄屋

円谷茂平

御代官所

子年分囲糶帳面上ル

一糶粍石貳升

中森林蔵
内山忠松^印

文政十多年溜穀小前取立扣

六人	庄 吉	貳人	文 次
五人	茂 吉	六人	音右衛門
七人	定 松	六人	豐 吉
五人	伊右衛門	七人	源 八
五人	伊三郎	五人	定 吉
五人	和 十	四人	七三郎
四人	又兵衛	七人	熊次郎
三人	半兵衛	五人	龜 藏
七人	惣右衛門		
六人	佐 十		
六人	寅 藏		
七人	茂 平		
百人七人	𦵏人ニ付𦵏𦵏升ッ、		
𦵏𦵏石七升			
五人	文政十一年溜穀小前取立扣		
七人	庄 吉	三人	文 次
五人	茂 吉	六人	音右衛門

六人 寅 松 六人

五人 伊右衛門 六人

六人 伊三郎 五人

五人 和 十 五人

四人 又兵衛 四人

貳人 半兵衛 五人

七人 惣右衛門

六人 左 十

五人 寅 藏

六人 𦵏谷茂平

百人 𦵏貳人 𦵏人ニ付𦵏𦵏升ッ、

𦵏𦵏石貳升

文政十二年溜石穀取立

一人	庄 吉	一人	茂 吉
一人	寅 松	一人	伊右衛門
一人	伊三郎	一人	和 重
一人	又兵衛	一人	半兵衛
一人	惣右衛門	一人	寅 藏

一六人	文次	一六人	富藏	七升	茂吉	五升	左平
一五人	豊吉	一七人	源八	三升	定吉	五升	豊吉
一五人	定吉	一四人	亀藏	五升	寅藏	六升	伊三郎
一三人	七三郎	一五人	熊治郎	五升	伊右衛門	四升	文右衛門
一七人	茂平殿			六升	寅松		

ノ百六人

丑壱石六升

覚

寅年溜穀取立不申候

帳面ハ寅年分壱石と卯正月書上申候

午九斗四升 明岡兩村分

一糶六升	伊三郎
一糶貳升	源五
一糶五升	茂右衛門
一五升	九藏

午壱斗八升 新田 未六月書上ル

午ノ壱斗八升

辰溜穀壱石貳升取立已正月書上ル

一壱斗八升	庄吉
-------	----

辰溜穀壱斗八升 新田分書上取立無之候

巳年凶作ニ付取立なし

一貳斗八升八合	茂吉
一貳斗八升八合	善作

然ル所半高未六月書上

一貳斗壱升六合	伊三郎
---------	-----

巳年分四斗七升 明岡分 書上

一貳斗壱升六合	和十
---------	----

巳年分九升 新田分

一壱斗四升四合	又兵衛
---------	-----

午溜穀取立控

一壱斗壱升四合	惣右衛門
---------	------

一 壺斗貳升六合

壺人まい三升七合ツ、

ノ百三人

粃三石六斗

覚

一 壺斗八合

一 壺斗四升四合

一 壺斗八升

一 貳斗八升八合

一 貳斗五升貳合

一 貳斗五升貳合

一 壺斗四升四合

一 壺斗八升

一 壺斗八升

一 貳斗五升貳合

一 壺斗八升

一 貳斗八升八合

一 貳斗八升八合

(注帳面綴方前後逆なり)

茂 平 治

定 吉

七 三 郎

和 七

源 右 衛 門

市 三 郎

富 藏

文 右 衛 門

寅 藏

佐 十

伊 右 衛 門

庄 吉

茂 吉

善 作

三五 〔天保七年十二月幕領淺川陣屋支配大畑村

夫食代拝借貸附小前控〕

(表紙)

天保七申年 石川郡

夫食代拝借貸附小前帳

十二月 北大畑村

ひかへ

覚

一金六兩貳分也 夫食代拝借

但 来西ノ丑迄五ヶ年賦壺ヶ年
金壺兩壺分永五拾文ツ、

返納之積

右貸附

一金貳分

一同貳分貳朱

一同貳分貳朱

一同壺分貳朱

一同貳分貳朱

一同貳分貳朱

甚 重 郎

留 三 郎

久 右 衛 門

ひ さ

富 八

善 右 衛 門

一同壹分貳朱

弥右衛門

一同三分也

富 八

一同貳分貳朱

熊 太 郎

一同三分也

弥 四 郎

一同貳分貳朱

弥 四 郎

一同三分也

善右衛門

一同貳分貳朱

嘉左衛門

一同三分也

熊 太 郎

一同貳分貳朱

次郎兵衛

一同貳分貳朱

弥右衛門

一同壹分

亦 三 部

一同三分也

嘉右衛門

天保八丑年

一同三分也

次郎兵衛

種麦代拝借候ニ付小前帳

一同貳朱ト永五拾文

又 三 郎

正月

天保八酉年

一金六兩也 種麦代御拝借

種粃代拝借貸附小前帳

外金壹兩三分永五拾文三割利金

三月

合金七兩三分永五拾文

一金拾三兩也

但 当酉々丑迄五ヶ年賦壹年
金壹兩貳分 永六拾文ツ、返納之積

外金三兩三分永百五拾文

三割利金

右小前

一金三分也

甚 重 郎

合金拾六兩三分永百五拾文

一同貳分貳朱也

留 三 郎

但 来戌々寅迄五ヶ年賦
老年金三兩壹分永百三拾文ツ、

一同貳分貳朱也

久右衛門

返納積

一同貳分也

ひ さ

右小前

一金老兩也

甚重郎

再夫食代拝借小前帳

一同老兩三分也

留三郎

一同老兩三分也

久右衛門

一金五兩也 但來戌寅迄五ヶ年賦老年
老兩貳分ツ、返納之積リ

一同老兩也

ひさ

右小前

一同老兩壹分也

富八

一金貳分也

甚十郎

一同老兩三分也

弥四郎

一金貳分也

留三郎

一同老兩三分也

善右衛門

一同貳分貳朱

久右衛門

一同老兩三分也

熊太郎

一同老分貳朱

ひさ

一同三分也

次郎兵衛

一同貳分

富八

一同老兩三分也

又三郎

一同貳分

善右衛門

一同老兩壹分ト永百五拾文

嘉右衛門

一同貳分

熊太郎

一同壹分也

弥四郎

一同貳分貳朱

弥四郎

右之通拝借仕候処相違無御座候依而小前印形仕差上申候

己上

一同貳分

嘉右衛門

長百姓 弥五右衛門

天保八酉年三月

与頭 一郎兵衛

右之通拝借仕候処相違無御座候依而小前印形仕差上申候

同 松左衛門

己上

庄屋 柳藏

天保八酉年六月

弥五左衛門

浅川

御役所

松左衛門

浅川

柳 藏

御役所

(裏書き)

是ハ三冊ニ相認差上候得共ひかへハ老帳ニ仕置

(大畑 青木政義家文書)

三六 〔嘉永三年十一月申年大凶作拝借二十五力年

賦返納割合帳〕

(表紙)

「 嘉永三戌年 石川郡大畑村

申年大凶作拝借廿五ヶ年賦返納割合帳

十一月吉日 庄屋 青木柳藏

」

覚

天保四巳年違作ニ付翌年二月十四日同三月六日兩度ニ拝
借元

一米拾四石三斗九升九合九勺 貸附元帳ハ
別ニ在

但 拾ヶ年置様嘉永戌戌迄貳拾五年賦
返納老年ニ米老升ニ付老文老分老リ御返納

右貸附元

一米六斗貳升貳合七勺

長 吉

六十七文

老年 濟口

一同七斗九升七合

留 三 郎

八十九文

同

一同老石六升七合

弥 四 郎

百十八文

同

一同八斗老升八合七勺

源 吾

九十一文

同

一同老石老斗九升五合六勺

周 藏

百三十三文

同

一同八斗老升八合七勺

次 平

九十一文

同

一同四斗四升老合八勺七才

ひ さ

四十九文

同

一同老石貳斗八升貳合

久 次

百四十貳文

同

一同四斗八合四勺

松右衛門

四十五文

一同 壹石壹斗四升八合七勺

百貳十貳文

一同 九斗貳升八合七勺

百三文

一同 壹石貳斗三合七勺

百三十四文

一同 壹石五斗八合七勺

百六十貳文

一同 六斗六升三勺

七十三文

一同 七斗四升七勺

八十貳文

一同 七斗五升三勺

八十四文

ノ

同

喜 平

同

安之助

同

彦兵衛

同

嘉右衛門

同

富 八

同

無役地

同

弥五郎

同

此錢貳百三拾壹貫六百八拾文

但拾ヶ年置居嘉永三戌年ノ戌迄廿五ヶ年
賦壹ヶ年返納百文ニ付貳文七厘宛

右貸附元

十三貫七十五文

一金貳兩ト貳百七十五文

内貳百三十文

十五貫五百九十文

一同 貳兩壹分貳朱ト三百九十文

内三百廿七文

十三貫貳百四十八文

一同 貳兩壹朱ト四十八文

内貳百七十八文

十七貫四百八文

一同 貳兩貳分三朱ト貳百八文

内三百六十六文

十三貫三文

一同 貳兩ト貳百三十文

内貳百七十三文

十四貫五百五十文

ひ さ

安之助

留三郎

久 次

長 吉

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

一同貳兩壹分ト百五十文

内三百六文

源 吾

十七貫六百七十文

一同貳兩貳分ト七十文

嘉右衛門

十七貫四百四十五文

一同貳兩貳分貳朱ト貳百四十文

周 藏

十六貫百七十三文

内三百七十一文

同

内三百六十文

同

一同貳兩貳分ト百七十三文

弥五郎

七貫十八文

一同壹兩壹朱ト九十八文

松右衛門

内三百三十九文

同

内百四十七文

同

九貫六百十三文

富 八

十五貫五百九文

一同貳兩壹分貳朱ト三百九十文

喜 平

廿貫七十文

彦兵衛

内三百廿六文

同

一同三兩貳朱ト七拾文

彦兵衛

八貫五百八十三文

一同壹兩壹分壹朱ト百八十三文

無役地

内四百廿貳文

内貳百七十五文

同

右米金二口ノ壹ヶ年返納左ニ

十五貫四百廿八文

一同貳兩壹分貳朱ト貳百廿八文

弥四郎

一三百四十文

一三百六十七文

長 吉

内三百廿文

同

一四百三十八文

留三郎

十七貫六百七十文

一同貳兩三分ト七十文

次 平

一三百九十七文

源 五

内三百七十一文

同

一四百九十三文

周 藏

次 平

一貳百七十九文

一四百三十文

一五百廿文

一百九十貳文

一四百五十四文

一五百五十九文

一五百三十九文

一貳百七十六文

一三百五十七文

一四百廿三文

ひ さ

安之助

久次

松右衛門

喜平

彦兵衛

嘉右衛門

富八

無役地

弥五郎

〔大畑 青木政義家文書〕

三七 〔安政二年十二月旗本松平軍次郎知行所大畑村柳蔵

拝借金返納ニ付歎願〕

安政二年十二月

乍恐以書付奉歎願上候

乍恐以書付奉歎願上候

一私義先御支配岡村様より天保十三寅年より拝借金拾壹兩有之數年拝借罷在候処尚又去ル子年金拾五兩拝借仕右元金之内八兩貳分差上殘金六兩貳分之分式ケ年之利足并右拾壹兩之口三ケ年利足滞居丑暮勘定立上候処元利共ニ金貳拾六兩貳分式朱ト銀五匁ニ相成其外中野目村円谷春平口入を以去ル酉年拝借も有之其外借財相嵩実以身分不相応之大借と相成必至と当惑仕候処去暮中岡村様拝借之分御勘弁ヲ以金貳拾五兩之分間を以去卯暮より拾ケ年賦ニ元利相納候様被 仰付難有承知奉畏候得共右之仕合ニ御座候得者此内田地入附ニ相成居候故当御年貢御上納仕候得者借財向江返済差向候様無御座当暮ニ至り候而者如何共可致様無之依之無抛江戸表江奉公ニ罷出借財向返済仕候心得ニ御座候間依向何卒奉恐入候得共格外之御憐愍を以春平口入拝借之分迄無利足拾ケ年御返納ニ被仰付被成下置度偏ニ伏向奉歎願上候猶当年濟口之分来已之八月中秋利足差加ヘ急度相納可申候間何共恐入候御儀ニ者御座候得共致方無之不奉恐願奉歎願上候格段之思召を以右奉歎願候通被 仰付被成下置候ハ、重々广大之御慈悲難有仕合奉存候以上

安政二辰年十二月

大畑村

柳 蔵 印

前書之通奉歎願上呉候様相歎候ニ付無是非取次奉差上候間
格外之御慈悲を以右願之通被仰付被成下置候ハ、私共一同
難有仕合奉存候

以上

長百姓

長 吉 印

組頭

孫左衛門 印

は

松右衛門 印

佐々原善右衛門様

坂根平五郎様

〔大畑 青木政義家文書〕

〔解説〕 年貢の未納分などがあると拝借金として証文を書いて後年の返済を約束する。ところがそれに利息が加わり、返済できないでいると「身分不相応の大借」となってしまう、返済の方法などについて歎願したものである。長百姓・組頭連名で提出している。

三八 〔文久三年四月非常御困數ニ力年賦にて借用願〕

文久三亥年四月

乍恐以書付奉願上候

乍恐以書付奉願上候

右ハ登祢山後式ケ所池之儀むくり水多御座候故是迄村方ニ而取繕罷在候得共当亥旱魃ニ而無水ニ罷成後日雨降候而も満水不仕御田地養難行届百姓一同難渋仕候付何卒御憐愍非常御困數当亥来る二ケ年賦御返納之積ヲ以御拝借被仰付尤当月始迄ニハ過半水御座候得共水中開発職人為相積候処作料扶持米金九兩九匁相懸り可申旨ニ付極難渋之村柄故普請人用必至卜差 支奉当惑候間何卒御慈悲之御憐愍ヲ以非常御困數之内艸四拾俵式ケ年済ニ御拝借被仰付被成下置度奉願上候右願之通御聞済之上御拝借被成下置候ハバ一統難有仕合奉存候以上

文久三亥年四月

河野幸之助様

三与人

佐々原善右衛門様

〔大畑 青木政義家文書〕

庄屋

勘右衛門

御奉行所

三九 〔天明元年十二月越後高田藩領堤村金八女房

懐胎届〕

四〇 〔文化九年六月幕領大畑村出生子養育金願〕

天明元年丑十二月

覚

以書附御届ケ申上候事

中野目組堤村

一賀藏女房懐胎七ヶ月御届申上候市兵衛女房五ヶ月御届申上候

文化九年申六月

以口上書御届申上候

〔懐胎届ケ書〕

以書附御届ケ申上候事

中野目組堤村 金 八

女房

右之女当丑七月懐胎仕候ニ付於氏宮神文為仕申候御届ケ申上候以上

天明元年丑十二月

同組同村組頭

治兵衛

候

一当村久右衛門女房出産之時御届仕候所病氣ニ御座候故三七日節養育御願も延引相成候其後大病ニ相成候処親小之者も宜敷様相見申候先達口上ニ而御内意申上候此後快氣次第ニ可申兼而難渋之者ニ御座候何卒快氣上ハ御勘弁を以養育金被下置度奉願上候
此者養育金之義ハ七月十二日ニ被下置候以上
右之者快氣御届申上候而養育金被下候七月十二日申受納致候

文化九年七月十二日

久右衛門

平吉

富八

女房

当月十一日安産之御届仕候以上

九月十二日

卯左衛門

〔大畑 青木政義家文書「御用日記」より抜出〕

四一〔文政十三年十一月幕領大畑村嫁取金下附願〕

乍恐以書付奉願上候

石川郡大畑村

一金三両也

弥四郎

此者白川御領松倉村栄太郎娘当村弥五右衛門仲立ヲ以嫁

縁約仕候

一同三両也

富八

此者同御領久来石村藤衛門仲立ヲ以嫁縁約仕

候

一同三両也

久右衛門

此者同御領根田村佐吉伴同村平太仲立ヲ以嫁縁約仕候

右之者共嫁縁約仕候処極難渋之御百姓共祝金差支呼取リ

兼申候ニ付書面之金子御拝借奉願上候尤右願人共死失欠落

如何様之儀御座候而も好身組合ニ而引受急度御上納可仕候

依之厚御勘弁之御慈悲ヲ以右願通被仰付被下置候ハハ当人

ハ勿論御百姓出精仕村方一統難有仕合奉存候以上

文政十三年

寅十一月

弥太郎好身

專吉

同人五人組

長衛門

富八好身

專吉

同人五人組

弥衛門

久右衛門好身

甚十郎

同人五人組

千代松

長百姓

弥五衛門

後見

市兵衛

同人

嘉藏

庄屋

藤五郎

浅川

御役所

〔大畑 青木政義家文書「大畑村御用留帳」抜出〕

一金三分宛

中畑村

四二 〔天保二年二月・白河領明岡村出生養育金書上ケ〕

出生人書留扣

三八 房

呼取御貸附

一閏十一月三日出生男子
貳分養育金頂戴仕候

一金壹兩三分宛

一閏十一月廿日出生女子
政七 房

栄吉 喜平

一閏十一月廿八日出生男子

直七 房

貳分養育金頂戴仕候

女七 房

庄之助 惣七
忠吉 直右衛門
熊次 弥吉

一卯正月十六日出生

貞吉 房

右同断
一金四兩

磯右衛門

貳分養育金頂戴

一卯二月三日出生女子

卯之吉悻小十 房

〔矢吹 円谷重夫家文書「書上寛」抜書〕

右之通御手当被成下間難有相心得農業出精可致もの也

辰十二月

四三 〔年不詳幕領浅川陣屋支配中畑村小兒御手当金〕

覚

小兒御手当

浅川

御役所

〔名前は上段より下段へつづく〕
〔矢吹町中畑 岡崎長成家文書〕